

# 令和3年度一般財団法人こまき市民文化財団事業報告

## I 令和3年度事業のまとめ

当財団の運営にあたっては、財団のビジョンである「市民がともにつくる文化を支え、文化をとおして人々に心の豊かさを提供します。」に基づき、小牧市民をはじめ地域の方々に様々な文化事業などを提供するとともに、皆さんが利用しやすく親しみやすい施設の運営を行っているところです。

しかしながら、ここ数年の新型コロナウイルスによる感染拡大に伴い、令和3年度前半においても緊急事態宣言・まん延防止等重点措置などの発令により、市民会館をはじめとする施設が利用停止または利用時間の短縮となり、各種事業においても中止・延期・入場制限が余儀なくされました。年度後半からは、施設において概ね通常利用が可能となり、これまで席数を制限し実施していた事業においても十分な対策をとる中、2月からは100%配席で実施したところです。

その結果、令和2年度と比較すると施設利用者数・来場者数は増加しているものの、新型コロナウイルス感染以前の状況にはまだ至っていないのが現状であります。

そのため、少しでも多くの皆さんに事業などを知っていただくために動画配信やツイッターなどのSNSを通じて様々な情報を提供しているところです。

## II 文化事業の状況

令和3年度の当財団の運営にあたっては、普及・伝統文化・舞台公演・美術・こまなび・広報の6部門に事業分けし、当財団が掲げるビジョンの実現に向け、魅力溢れる新しい企画を取り入れながら事業を実施しました。

### 1 普及事業

鑑賞や体験をとおして市民に良質な文化を提供し、文化芸術に興味を持つきっかけづくりを行いました。プロのアーティストを小中学校に派遣し、子ども達の想像力や表現力等を育むアウトリーチ、一日を通して誰もが気軽に文化に触れ楽しめる音楽のイベントとしてこまぶんフェスタを実施しました。

事業名	実施日／会場	内容	入場者数 参加者数
テーブルシアター「三びきのやぎのがらがらどん」	5月16日(日) 味岡市民センター	俳優と音楽家のユニット「テーブルシアター」による絵本を原作とした子ども向けの演劇公演。	中止
幼稚園・保育園音楽鑑賞事業	6月24日(木)～ 2月10日(木) 各園	中部フィルハーモニー交響楽団による幼稚園・保育園・こども園への巡回演奏。幼稚園9園・保育園21園・こども園2園で実施した。	2,928人

事業名	実施日／会場	内容	入場者数 参加者数
サンデーコンサート	6月20日(日) 北里市民センター	第137回サンデーコンサート「輝け!音の祭典」～ OLYMPIC ala ポルタメント小牧～	中止
	8月29日(日) 味岡市民センター	第138回サンデーコンサート「ディズニーの世界プリンセスシリーズ」～今日はみんながプリンセス～	中止
	9月25日(土) 味岡市民センター	第139回サンデーコンサート「知られざるショパンの魅力 Part2」～ショパン国際ピアノコンクール裏話～	中止
	12月19日(日) 味岡市民センター	第140回サンデーコンサート「北ヨーロッパ音楽めぐり」～不思議の国の調べ～	105人
	2月20日(日) 味岡市民センター	第141回サンデーコンサート「かなしさは疾走する 涙は追いつけない」～モーツァルト 珠玉の室内楽作品群～ 中部フィルハーモニー交響楽団の弦楽四重奏の演奏とともにお届けするコンサート。	128人
こまぶんフェスタ2021 —MUSIC ADDICT—	8月22日(日) 市民会館	誰もが気軽に文化芸術に触れ一日楽しめる音楽のイベントを市民会館で開催した。特に普段は施設にあまり足を運ばない若い世代が楽しめる「ハイスクール・バンバン」、「名古屋ギター女子部」や日本で活躍する外国人アーティストの本格的なジャズバンドのコンサートを実施した。	3公演 323人
吹奏楽フェスティバル2021	10月3日(日) 市民会館	市内の中学校・高等学校の吹奏楽部、市民バンドによる吹奏楽の演奏。	中止
小学生オーケストラ演奏鑑賞事業	10月12日(火)・ 13日(水) 市内各小学校	中部フィルハーモニー交響楽団による小学校へのオーケストラ巡回演奏。 2校(光ヶ丘・桃ヶ丘)で実施。 中止 小学校3校(本庄・篠岡・陶)	855人

事業名	実施日／会場	内容	入場者数 参加者数
こまきドリームオーケストラ (中学生オーケストラ演奏鑑賞 事業)	10月28日(木) 10月29日(金) 12月3日(金) 市内各中学校	新型コロナウイルス感染拡大防止対策のため、市民会館大ホールではなく学校の体育館で時間短縮や学年ごとに分散するなどの対策を講じ、中部フィルハーモニー交響楽団による本格的なオーケストラコンサートの鑑賞会を実施した。中学校3校(味岡・小牧西・小牧)実施	1,925人
バリアフリーコンサート	3月12日(土) 味岡市民センター	障がいの有無や年齢に関係なく、気楽に音楽を楽しめる一部参加型のコンサートを実施した。	130人

事業名	実施日／会場	内容	入場者数 参加者数
こども夢・チャレンジ文化事業			
第17回こまきやまおやこ ラー	5月2日(日)・ 3日(月・祝) 史跡公園・小牧 山・青年の家	小牧山・史跡公園で活動的な遊びや点在 するポイントを回ってアドベンチャー・ アウトドアゲームなどにチャレンジす る親子を対象としたイベントを開催し た。	2日間 99組 子ども152 人 保護者189 人
詩の名作・児童書の名作に 触れる プラネタリウムの朗読会	7月4日(日) 中部公民館	プラネタリウムで星空や映像を投影し ながら、詩人大崎清夏氏が自作の詩や絵 本、著名な詩などの朗読会を実施した。 また関連企画のワークショップに参加 した子どもたちが作った詩を自分たち で朗読し、発表した。	47人
星空の詩をつくろう ～みんなでつなげる こと ばの星座～		小学4年生から6年生を対象とした、詩 を作るワークショップ。一人ずつが少し ずつ言葉を出し合ってひとつの長い詩 を作る連詩で、詩の世界を体験した。作 った詩は関連企画のプラネタリウムの 朗読会で発表した。	2人
第2回小牧将棋の集い	8月8日(日) ふらっとみなみ	小学生、中学生、高校生を対象にした階 級別の将棋大会。また、希望者に対して プロ棋士による指導対局を実施した。	61人
あつまれ！小牧あそび城	11月7日(日) 青年の家・小牧 山	伝統的なあそび用具づくりや、ニュース スポーツなど、物づくりの楽しさや体を使 った遊びを体験させる催しを開催した。	48人
小牧市民舞台芸術祭	11月14日(日) 味岡市民センター	こまき演劇サークルエチュード 「ゼロ弾きのゴーシュ エチュード版」	87人
	2月13日(日) 味岡市民センター	ミュージカル劇団スパーク 「南吉 Stories」	中止

事業名	実施日／会場	内容	入場者数 参加者数
アトリーチ事業	7月6日(火) 小牧小学校	落語	6年生 115人
	11月15日(月) 一色小学校	落語を聴くだけでなく、寄席で使う太鼓の意味や手ぬぐいや扇子の使い方等を学んだ。	5年生 96人
	11月16日(火) 小牧南小学校		5・6年生 288人
	12月13日(月) 篠岡中学校	コンテンポラリーダンス プロのダンサーの動きを間近で見ながらからだを使って自由に表現することを体験した。	3年生 48人
ふれあい音楽広場	通年 1月9日(日)	ポルタメント小牧主催 寿ぎの春	36人
	2月27日(日)	祖国への想い～ショパン・ブラームス・ドヴォルザークの音楽より～	72人
	3月6日(日)	フレッシュコンサート	65人
	味岡市民センター	12月までは施設が使用不可のため実施せず。	
音楽指導事業	通年 市内各校	市内小・中・高等学校吹奏楽部等への楽器演奏方法を指導。(中部フィル楽団員の派遣)	派遣人数 延べ162人
小牧の文化・芸術を知ってもらおうプロジェクト！ オーケストラ・マード美術館招待事業	通年 市民会館 マード美術館	小牧市へ転入された方へ中部フィルハーモニー交響楽団コンサートチケットとメナード美術館入場券をセットにして、抽選でプレゼントすることで小牧の文化芸術の周知を図った。	応募48人 当選20人
ジュニア演劇クラブ育成事業	通年 北里市民センター他	週2回(第2・第4土曜)の演劇指導を通じて、演劇の楽しさに触れるとともに、演技力などのスキルアップを図った。 本年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、24回の活動日の内13回の活動日及び自主公演は中止した。	受講34人 指導10人 受講者 延べ234人 指導者 延べ64人

## 2 伝統文化事業

長い歴史の中で受け継がれてきた豊かな日本文化を継承するために、文化協会等と連携し、各小中学校へ外部講師を派遣し伝統文化等を指導するジュニア育成文化活動などを実施しました。

また、伝統と現代を融合させた若手和楽器奏者によるコンサートを実施しました。

事業名	実施日／会場	内容	入場者数 参加者数
小牧吟剣詩舞道大会	7月4日(日) 味噌市民センター	小牧吟剣詩舞道連盟に加盟する団体が一堂に会する吟剣詩舞道の発表会。	230人
駒来落語会 桂宮治 真打昇進披露落語会	7月18日(日) 味噌市民センター	令和3年2月に真打に昇進した桂宮治の真打昇進披露落語会。	221人
夏休みこども文化体験教室	7月27日(火) ～8月12日(木) 市民会館 市公民館 中部公民館	小牧市文化協会所属の13団体の会員が講師となり、伝統文化に触れる機会として市内の小・中学生を対象とした16講座を開催した。市内の小中学生が参加し、学校の枠を超えた仲間づくりをしながら文化体験を行った。	366人
納涼大盆踊り	8月 市民会館	小牧市民踊協会が主催し、近隣住民など多くの市民が参加する盆踊り。	中止
小牧山薪能	9月18日(土) 市民会館	本年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため、会場を市民会館大ホールで予約制で開催予定であったが、緊急事態宣言の発令に伴い中止とした。	中止
第44回 小牧市文芸祭	10月24日(日) ～11月3日(水・祝) まなび創造館	小牧市在住・在勤、在学者と文芸協会会員、近隣市町から小説・随筆等の創作や現代詩・歌謡詩、短歌・俳句・川柳・冠句を募集し開催した。	応募人数 2,816人 作品数 2,957点
第44回 小牧民謡まつり	12月5日(日) 市民会館	小牧市民謡連盟が主催し、市内の民謡愛好家が一堂に会して開催した。	250人
吉田兄弟コンサート “THE YOSHIDA BROTHERS”	12月12日(日) 市民会館	津軽三味線の若手奏者として人気が高い吉田兄弟の三味線とバンドを加えた伝統と現代が融合した豪華なコンサート。	612人
第72回 書き初め大会	1月15日(土) 篠岡小学校 1月16日(日) 小牧小学校	小牧市書道連盟が主催し、72回を数える伝統行事。 市内外の幼児から高校生までが参加した。	773人

事業名	実施日／会場	内容	入場者数 参加者数
駒来落語会 桂南光独演会	1月15日(土) 北里市民センター	上方の噺家、桂南光をはじめとする米朝一門による落語会。	147人
文化講演会 これからの学校教育・文化を展望する ～学校と文化が変わっていく姿～	2月3日(木) まなび創造館	小牧市文化協会が主催し、毎年開催している講演会。岐阜聖徳学園大学教授玉置崇氏を講師に迎え、これからの学校教育と文化について考える内容の講演会を開催した。	100人
邦楽コンサート 黒田鈴尊×LEO ～尺八と箏の競演～	2月6日(日) 味岡市民センター	若手実力派の和楽器奏者、黒田鈴尊とLEOによる尺八と箏のコンサート。	294人
第45回 小牧民踊まつり	2月13日(日) 市民会館	小牧市民踊協会が主催し、協会加盟団体が参加する民踊発表会。	250人
小牧・春日井合同 初謡大会	3月25日(金)	小牧市謡曲連盟が主催する市内の謡曲愛好家の発表の場。	20人
ジュニア育成文化活動事業 (伝統文化指導事業)	通年 市内各小中学校	小牧市文化協会の会員が、各小中学校へ外部講師として出向き伝統文化等の指導を行った。	派遣講師 35人 延べ56人 指導児童生徒 2,350人

### 3 舞台公演事業

市民が優れた音楽、舞踊、演劇等の文化芸術を鑑賞できる機会を提供しました。公共ホールのスタッフ等の企画・制作能力の向上と創造性豊かな地域づくりに資することを目的とした、公共ホール現代ダンス活性化事業コンテンポラリーダンス公演「それでも、踊る」を(一財)地域創造と共催で実施しました。

事業名	実施日／会場	内容	入場者数 参加者数
にじいろ音楽隊ファミリーコンサート関連企画 音楽をあそぼう! にじいろ音楽隊 音楽ワークショップ	6月12日(土) 味岡市民センター	小学生を対象としたワークショップで、楽器の鳴らし方やリズムのとり方、音楽の楽しみ方などを学び6月13日のファミリーコンサートでにじいろ音楽隊と一緒に演奏する。	中止
にじいろ音楽隊 ファミリーコンサート	6月13日(日) 味岡市民センター	バイオリン、クラリネット、マリimba、パーカッションの4人編成によるファミリー向けコンサート。	中止
小牧市民音楽祭	7月11日(日) 市公民館	小牧市音楽連盟に所属する団体が日頃磨いてきたコーラスの成果を披露する場。	中止
愛知県芸術劇場ファミリープログラム「えんどうまめとおひめさま」	8月1日(日) 味岡市民センター	ノルウェーのダンス・カンパニーがアンデルセン童話を原作とする「えんどうまめとおひめさま」を元にパフォーマンスを繰り広げる作品。	中止
たをやめオケスタビッグバンド ジャズコンサート	11月6日(土) 味岡市民センター	女性ばかりのトロピカルビッグバンドによるジャズコンサート。	208人
米村でんじろうサイエンスショー - おもしろ科楽館	2月5日(土) 市民会館	米村でんじろうによる科学実験を多彩な演出を加えてショースタイルで表現したサイエンスショー。	2回公演 829人

事業名	実施日／会場	内容	入場者数 参加者数
コンテンポラリーダンス公演関連企画			
かぶりものワークショップ	2月26日(土) 市公民館	山猫団の美術家、ニシハラ☆ノリオ氏による子どもを対象とした、新聞紙と色ガムテープだけで作るかぶりもののワークショップ。 子どもたちの一部は、制作したかぶりものを被って山猫団のダンス公演に子どもサポーターとして参加した。	18人
コンテンポラリーダンス公演 山猫団「それでも、踊る」	3月5日(土) 市民会館	公共ホール現代ダンス活性化事業Cプログラム。(一財)地域創造の登録アーティスト長井江里奈氏(山猫団)によるダンス・音楽・美術が融合した奇想天外なダンス公演。	45人
ダンスワークショップ「山猫団ス!」	3月5日(土) 市民会館	公共ホール現代ダンス活性化事業Cプログラム。ダンス公演後に山猫団と一般公募した小学生から大人までの参加者がホールの舞台上でコンテンポラリーダンスのワークショップを実施。	7人
中部フィルハーモニー 交響楽団演奏会	9月26日(日) 市民会館	第76回定期演奏会 KOMAKI シリーズ 1 指揮:飯森範親 ピアノ:岡田奏	中止
	12月18日(土) 市民会館	第78回定期演奏会 KOMAKI シリーズ 2 指揮:飯森範親 ソプラノ:山田知加 メゾソプラノ:谷田育代 テノール:中井亮一 バリトン:森寿美 合唱:名古屋芸術大学合唱団・こまき第九 2021 特別合唱団	777人
	1月30日(日) 市民会館	第79回定期演奏会 KOMAKI シリーズ 3 指揮:飯森範親 チェロ:新倉瞳	408人
	3月26日(土) 市民会館	小牧特別演奏会 指揮:高井優希	820人

#### 4 美術事業

市民の創作活動の発表の場として、62回目の市民美術展を開催しました。また、小牧にアーティストが集まり、作品制作や展示を行い、小牧の街をめぐりながらアートに触れるアートプロジェクト「点と点と線」などを開催しました。

事業名	実施日／会場	内容	入場者数 参加者数
こまきアートプロジェクト 「点と点と線」	7月22日(木・祝) ～8月1日(日) 青年の家・中央図書館・歴史館・れきしるこまき	小牧市のシンボルでもある小牧山の麓の青年の家をメイン会場に、山頂の歴史館、街中の図書館の一角を展示会場とし、小牧にアーティストが集い作品を制作・展示した。 関連企画として、鑑賞ツアーやワークショップ、講演会なども実施した。	2,980人
美術ワークショップ ～和の美～日本画を扇のかたちに描こう！	8月14日(土) 中部公民館	名古屋造形大学准教授で日本画家でもある濱田樹里氏による日本画のワークショップを実施し、制作した作品をロビー展示した。	19人
第62回小牧市民美術展	10月24日(日) ～11月3日(水・祝) まなび創造館	市民の創作活動の発表・鑑賞の場として、市内在住・在勤・在学及び市内で活動する文化団体に所属する方を対象とした公募美術展覧会。審査員の作品も同時に展示。 出品展示点数：281点	2,267人
芸術文化講座 山縣良和トークショー〈ファッションってなんだろう？～装うことの愛おしさ～〉	11月23日(火・祝) 中央図書館	ファッションデザイナーであり教育者でもある山縣良和氏によるトークショーを実施した。	38人
こまきアートプロジェクト・参加型作品「ホクの思い、あなたの軌跡」小出ナキ作品展	11月28日(日) ～12月19日(日) ワクティブこまき	小出ナオキ氏がこまきアートプロジェクトで来場者と共に作成した粘土作品を焼成した陶製作品の展示とアートプロジェクトでの制作風景などの映像の展示。	—
現代美術企画展 SIDE CORE —こことどこか Here and Nowhere—	2月26日(土) ～3月6日(日) 中央図書館	ストリートカルチャーを切り口に様々なアートプロジェクトを展開するアーティストチーム「SIDE CORE」による映像作品の展示。	206人

事業名	実施日／会場	内容	入場者数 参加者数
芸術文化講座 地球に耳を澄ます ～音の旅、地球の音か らアート作品へ～	3月20日(日) 中央図書館	日本のフィールドレコーディングの草分け的存在であり、サウンドアーティスト、サウンドデザイナーである川崎義博氏による講座を実施した。	37人
巡回ミュージアム	通年 市内各中学校	市内中学校より希望を募り、原寸大の複製絵画を巡回し美術鑑賞の機会を形成した。 中学校3校(光ヶ丘、応時、味噌)	—
ジュニア美術クラブ育成事業	通年 小牧中学校	小牧市在住の中学生から希望者を募ってジュニア美術クラブを立ち上げ、学校の枠を超えて美術活動の機会・発表の場を提供した。 また、1年間の活動の成果として、3月19日～26日にまなび創造館センターホールでの展示会を開催した。	受講20人 指導2人  受講者 延べ251人 指導者 延べ42人

## 5 こまなび事業

こまなびサロンを拠点として地域の住民の生涯学習意欲に応えるため、市民講座、60歳以上の市民を対象としたゆうゆう学級講座や文化財団の特色を活かした講座等を実施しました。また、市民の生涯学習活動のコーディネートをはじめ、相談体制を構築し、生涯学習の総合的な窓口を開設しました。

事業名	実施日／会場	内容	入場者数 参加者数
こまなびサロン運営事業	通年 市公民館	窓口や電話での生涯学習相談、生涯学習市民講師の登録、生涯学習団体の登録を随時行った。	190人
市民企画講座	通年 市公民館・中部公民館	講師公募型の「市民企画講座」21講座を実施した。	313人
ゆうゆう学級	月2回隔週水曜 市公民館	「わくわく ときどき 学びの楽しさ」をテーマに、教養・文化・健康など、いろいろなジャンルの講座を年間15回実施した。(第1回から第3回及び第8回と第9回は、中止)	28人

事業名	実施日／会場	内容	入場者数 参加者数
大学連携市民講座	7月10日(土) 市公民館 7月24日(土) 市公民館 11月6日・13日 ・27日(土) 市公民館	7月10日に中部大学、7月24日に名古屋経済大学、11月6日・13日・27日に愛知文教大学と連携して実施した。	102人
生涯学習人材育成講座	10月31日(日) 市公民館 2月12日(土) 市公民館	地域で活躍する講師の方たちがコロナ禍でも対応できるオンラインでの講座の開催方法を学ぶ「オンライン講座対応のためのZoom初心者講座」や、ワクティブこまきと連携し、SDGsに関連した講座を実施した。	44人
こまなびカルチャー講座	6月26日(土)・7月10日(土) 市公民館 7月30日(金) 市公民館 10月23日(土) 市公民館 11月13日(土) 市公民館 11月21日(日) 中央図書館 3月10日(木) 市公民館	こまなびサロンの独自企画「こまなびカルチャー講座」6講座を実施した。	115人
連携市民講座	3月16日(水)・ 23日(水) 市公民館	明治安田生命が取り組む地域貢献を目的とした「地元の「公民館」元気プロジェクト」の中から「あなたは大丈夫？フレイル予防講座」を共催で実施した。	30人
こまなびフェスティバル2022	1月22日(土) 1月23日(日) 市民会館・市公民館	生涯学習活動の成果発表の場として開催。展示・体験の団体が21団体、舞台発表の団体が22団体参加した。	1,411人
情報が仆「こまなび」発行事業	年2回発行 (4月及び9月：各 57,500部)	財団情報誌「こまぶん」別冊の生涯学習情報誌「こまなび」を発行。小牧市内で行われる生涯学習情報を集約し講座への参加を呼び掛けた。	全戸配布



事業名	内容	
動画配信	普及事業	テーブルシアター「三びきのやぎのがらがらどん」の公演準備動画及び中止案内・次回公演のPR動画2本の配信を実施した。
		こども夢・チャレンジ文化事業「星空の詩をつくろう～みんなでつなげることばの星座～」で参加者の子どもたちが朗読した詩「星界旅行(せかいりょこう)」の音声の配信を実施した。
		小牧市民舞台芸術祭参加団体「ミュージカル劇団スパーク」のリハーサル時に撮影した通し稽古の動画配信を実施した。
	伝統文化事業	駒来落語会 桂宮治真打昇進披露落語会の特別動画配信として、桂宮治の真打昇進メッセージの動画配信を実施した。
	舞台公演事業	公共ホール現代ダンス活性化事業のコンテンポラリーダンス公演 山猫団「それでも、踊る」の公演PR動画の配信を実施した。
美術事業	こまきアートプロジェクト「点と点と線」の準備風景と記録映像の2本の配信を実施した。	
	第62回小牧市民美術展のPR動画配信を実施した。	
その他広報事業	事業等の情報発信	CBC ラジオや地元エフエム放送を利用した情報発信、新聞広告、対象年齢に合わせた無料のイベント告知サイトの利用、小牧市の広報及びLINEを利用した情報発信などを実施した。

### Ⅲ 施設運営事業

年度前半においては、緊急事態宣言・まん延防止等重点措置などの発令により、小牧市から指定管理者として指定された5施設が、利用停止または利用時間の短縮などの利用制限となりました。後半は概ね通常利用が可能となったことから、引き続きの十分な感染対策をとる中、施設管理を行うとともに各施設の魅力を生かした事業を実施しました。

また、市民をはじめとする利用者から信頼される施設となるよう、アンケートなど多様な手段を通じて利用者の声に耳を傾け、施設運営に可能な限り反映しました。

さらには、施設の長寿命化を図るため、不具合の早期対応に努めました。

#### (1) 小牧市市民会館・市公民館

貸 館 (市民会館)	年 間 利 用 件 数				
	午前	午後	夜間	計	利用人員
ホール	108	109	102	319	43,472
楽屋1号室	76	85	77	238	1,128
楽屋2号室	76	85	76	237	1,133
楽屋3号室	74	89	73	236	737
楽屋4号室	75	87	73	235	724
楽屋5号室	69	76	74	219	2,572
楽屋6号室	71	74	72	217	850
リハ-ル室1	79	88	74	241	1,226
リハ-ル室2	83	95	93	271	3,790
合計	711	788	714	2,213	55,632

貸 館 (公民館)	年 間 利 用 件 数				
	午前	午後	夜間	計	利用人員
講堂	27	28	22	77	1,578
学習室1-1	128	125	67	320	1,988
学習室1-2	137	117	108	362	2,037
和室	22	18	15	55	294
茶室	10	10	9	29	29
学習室2-1	55	53	24	132	847
料理教室	84	32	20	136	1,430
学習室3-1	89	95	33	217	2,325
学習室3-2	95	84	62	241	4,540

貸 館 (公民館)	年 間 利 用 件 数				
	午前	午後	夜間	計	利用人員
学習室 4-1	117	71	19	207	954
学習室 4-2	98	69	10	177	841
学習室 4-3	122	110	14	246	2,074
学習室 4-4	89	110	37	236	2,849
視聴覚室	100	83	102	285	5,998
創作室	114	83	12	209	2,381
展示場	***	***	***	6	226
音楽スタジオ	***	***	***	871	12,432
合計	1,287	1,088	554	3,806	42,823

(2) 小牧中部公民館・プラネタリウム

貸 館	年 間 利 用 件 数				
	午前	午後	夜間	計	利用人員
会議室 1	118	97	56	271	2,263
会議室 2	128	110	95	333	2,874
学習室	101	127	74	302	3,807
和室	104	66	10	180	1,560
茶室	4	3	3	10	44
大会議室	172	120	86	378	9,127
合計	627	523	324	1,474	19,675

プラネタリウム		年間利用人員
個人入場	大人	5,192
	小人	5,510
	合計	10,702
団体入場	大人	822
	小人	1,490
	合計	2,312
合計		13,014
団体入場件数		68

事業名	実施日	内容	入場者数 参加者数
一般投映	通年	春・夏・秋・冬の星座等をテーマとした一般番組を投映した。 ※5/12～6/20 まで臨時休館 8/27～9/30 まで臨時休館 11/20、11/21 臨時休館	10,784 人
親子で楽しむプラネリウム	通年	お子様でも楽しめるような星座生解説と番組を月2回土曜日を中心に開催した。 5/22、6/12、6/19、8/28、9/11、9/25、11/27 中止	460 人
宵のプラネリウム (ハナビリウム)	8月12日(木) 13日(金) 14日(土)	お盆期間の夕方に、夏の星座解説とこの時期に合った「ハナビリウム」を投映した。	175 人
コスミックタイム	通年	星空解説員による季節の星空生解説とミニ天文講座を合わせたプログラム。毎月第3土曜日を中心に開催した。 5/15、6/5、9/18、11/20 中止	134 人
キッズプラネリウム	通年	暗いところが苦手な小さな子どもでも楽しめるよう、星空案内を除いて子ども向け番組のみを投映した。 5/14、5/21 中止	235 人
こども天文講座	7月25日(日)	天文に関する工作講座(みんなで天体望遠鏡をつくろう)を開催した。	15 組
	8月8日(日)	天文に関する工作講座(光る星座早見盤をつくろう)を開催した。	6 組
特別投映 『星よりも、遠くへ』	3月5日(土) 3月6日(日) 3月11日(金)	東日本大震災から11年。あの夜の星空が今へと続いていることを改めて考え、特別番組を投映した。	33 人
星空コンサート	6月26日(土) 12月11日(土)	季節の星空生解説と生演奏のミニコンサートを楽しむ。	99 人
学習番組	11月4日(木) 11月5日(金)	小学校5年生を対象とした「月と夏の星座」を投映した。	104 人

事業名	実施日	内容	入場者数 参加者数
自主番組	6月～7月	七夕にあわせ「もうひとつの七夕物語」を投映した。	355人
わくわく天文講座	7月10日(土) 10月24日(日) 3月27日(日)	講師を招いて、宇宙や天文現象をテーマにした講座を開催した。	228人
星をみる会	8月15日(日) 11月7日(日) 2月6日(日)	四季折々の星空を天体望遠鏡を使って観望してもらおう。 5/16 中止	72人
ジュニアセミナー	通年	こども政策課主催による星に関する講座、ミニ演奏。	221人

(3) 小牧市歴史館

区分		年間入館者
個人入館	大人	23,419
	小人	6,605
	合計	30,024
団体入館	大人	9,215
	小人	779
	合計	9,994
未就学児		3,486
合計		43,504

事業名	実施日	内容	入場者数 参加者数
小牧・郷土のおまつり	4月1日(木)～ 5月11日(火) *令和2年度から継続	小牧市内各地区に伝わり、現在も続けられている郷土色豊かな祭礼等を解説パネルで紹介する企画展。	13,154人 (R3.3/19～3/31の人数含む)
甲冑試着体験	4月18日(日) 10月24日(日) 11月7日(日)	甲冑、着物等を用意し、小牧山城を訪れた希望者に試着体験をしてもらい、歴史文化に触れる機会を提供。 4/29 雨天中止	14人 20人 20人
ジュニア企画写真展 「小牧山に咲く草花たちの小さな写真展」	8月7日(土)～ 8月26日(木) 10月1日(金)～ 10月31日(日)	小牧山で見ることが出来る草花について、子どもでもわかるように解説し、画像とともに紹介する写真展。	7,055人
小牧山城茶会	11月	小牧山の頂上からの眺望の良さと合わせて、野点を体験してもらう。	中止
愛知が誇る！日本100名城・続日本100名城	1月22日(土)～ 3月21日(月・祝)	愛知県で選ばれた「日本100名城・続日本100名城」の7城について、各城担当者のおすすめポイントや御城印の印影などとともに紹介する企画展。	8,720人
忍者衣装試着体験	毎週土・日曜 5月12日～7月17日、 8月27日～9月30日 中止	来館者への「おもてなし事業」として子どもや外国人に人気のある忍者衣装の試着体験を実施し、施設のPRを図ろうとするもの。	73人

(4) 小牧市青年の家

貸 館 (研修)	年 間 利 用 件 数				利用人員
	午前	午後	夜間	計	
講義室	147	146	92	385	4,475
和室	664	738	569	1,971	4,075
合計	811	884	661	2,356	8,550

貸 館 (宿泊)	年 間 利 用 人 員			利用件数
	一般	中学以下	計	
和室	60	21	81	62
合計	60	21	81	62

事業名	実施日	内容	入場者数 参加者数
こども講座			
こども歴史講座 知ろう！学ぼう！忍者の世界	4月29日(木・祝)	忍者の技や武器をクイズ形式で学ぶとともに、模擬手裏剣を使って忍者体験をする。	10人
小牧山昆虫観察会	8月8日(日)	小牧山に生息している昆虫を観察しながらその生態を学ぶ。	30人
小牧山わくわく歴史探検	3月21日(月・祝)	小牧山を巡りながら、歴史的な建造物や遺構を発見するフィールドワーク。	8人
親子講座			
クリスマスリース&しめ縄リースづくり	12月11日(土)	クリスマスリースやしめ縄リースづくりを通して伝統的な行事に親しむ。	42人
やさしい電子工作	12月19日(日)	電気科学の魅力を体験する機会を提供する。	18人
ジュニアセミナー			
小牧山でアウトドア料理	7月10日(土) 10月9日(土) 11月20日(土) 12月11日(土)	小牧山の自然の中でアウトドア体験や料理づくりを実施。 9/11日(土)中止	延べ40人

事業名	実施日	内容	入場者数 参加者数
イベント			
瓦づくり体験活動	10月16日(土)	軒先瓦の一部の型抜きをし、日本の伝統文化の匠の技に触れる。	31人
創垂館保存修理工事現場見学会	10月16日(土) 10月17日(日)	小牧山の歴史を物語る歴史的建造物である創垂館の保存修理工事の様子を見学してもらう。	35人 24人
こどもフェスティバル	11月13日(土)	火起こしなど普段の生活ではできないことを体験する。また、小牧山内を散策して、自然の大切さを学ぶ。	中止
親子でアウトドア	11月中旬	アウトドアに興味はあるが、なかなかその一歩を踏み出せないでいる親子にアウトドアの素晴らしさを体験する機会を提供する。	中止
寺子屋			
夏の寺子屋	8月9日(月・祝) 8月10日(火) 8月11日(水)	夏休み及び春休みに、ありのままの子どもを受け入れ、安心して勉強や遊びに集中できる場所を提供	延べ36人
春の寺子屋	3月25日(金) 3月26日(土) 3月27日(日)	して、子どもの居場所づくりを行う。	延べ16人
青年講座			
SDGsって何?	2月13日(日)	SDGs(持続可能な開発目標)の導入編として、その概要を学ぶ。	中止
中高生サークルイベント企画隊支援事業			
中高生サークルイベント企画隊「春まつり」	3月20日(日)	小牧山内に用意したポイントごとにクイズに答えるフィールドワークを楽しむ。	15人

(5) 小牧山城史跡情報館

区分		年間入館者
個人入館	大人	17,550
	小人	5,052
	合計	22,602
団体入館	大人	3,638
	小人	874
	合計	4,512
未就学児		1,933
合計		29,047

貸 館	利用件数	利用人員
レクチャールーム	287	5,527

事業名	実施日	内容	入場者数 参加者数
小牧山城最前線！令和 2 年度発掘調査速報展	4月1日(木)～ 5月9日(日)	令和2年度に行われた史跡小牧山内の発掘調査の成果報告としてパネル展を開催。	6,396人
発掘速報記念講座「小牧山城の発掘トーク！」	4月25日(日)	令和2年度の発掘調査について、小牧市文化財課職員と、小牧山発掘作業員たちが自由にフリートークで振り返る講座。	中止
小牧山城戦国フェス (雅楽演奏)	4月29日(木・祝)	織田信長により保護された雅楽を取り上げ、信長との縁を通じて小牧山で雅楽演奏の鑑賞機会を提供する。	21人
小牧山城戦国フェス (石垣チャレンジ)		常設展示の石垣パズルを使って、石積みの疑似体験をしてもらう。	20人
小牧山戦国フェス (小牧山城茶会)		武士のたしなみであった茶の湯の体験。レクチャールーム前に会場を設営し、野点を開催。	中止
ゴールデンウィーク企画 「れきしるこまき みる！しる！小牧山」	5月1日(土)	小中学生を対象に、講師引率のもと小牧山を散策するフィールドワーク。各ポイントで、クイズに答えてシールを獲得していく。	21人

事業名	実施日	内容	入場者数 参加者数
岩崎城から見た小牧・長久手の戦い	7月4日(日)	岩崎城歴史記念館学芸員内貴健太氏による、小牧・長久手の戦いの中の岩崎城の戦い、及び岩崎城主丹羽家についての講座。	40人
夏休み企画「小牧山城の発掘品にふれてみよう」	7月25日(日)	小中学生の小牧山の歴史や当時の人々のくらしに対する興味関心を高めるため、発掘品に触れたり発掘品整理の疑似体験をしてもらう。	22人
夏休み自由研究☆レキシ ルお助け隊	7月29日(木)・30 日(金) 8月1日(日)・20 日(金)・21日(土)	夏休み中に歴史を知りたい子どもたちのため、れきしるこまきの職員やガイドボランティアが小牧山の歴史や自然についての自由研究の手助けを行う。	25人
夏休み企画「小牧山城石垣ジオラマをつくろう」	8月7日(土)	小牧山城石垣ジオラマの工作を通して、小牧山城への理解と関心を深める。	14人
尾張徳川家と小牧山園遊会	10月1日(金)～ 11月3日(水・祝)	尾張徳川家によって行われた小牧山園遊会と会場となった創垂館の歴史について、発掘品の展示やパネルで紹介。	4,491人
企画展記念講座「尾張徳川家と近代迎賓施設(創垂館)」	10月30日(土)	名古屋工業大学名誉教授の麓和善氏による、尾張徳川家と創垂館改修工事についての記念講座。	33人
秋の小牧山 大人のわくわく史跡探検	11月28日(日)	講師の解説を聴きながら、小牧山の穴場スポットを中心に散策する大人を対象にしたフィールドワーク。	30人
木の実でつくろう足軽人形	1月30日(日) 2月6日(日)	木の実や小牧山の間伐材を利用した足軽人形づくりを通して、小牧山の歴史や自然に興味をもってもらうワークショップ。	68人
お城の写真撮影と、動画撮影の楽しみ方	2月12日(土)	城郭写真家、畠中和久氏によるお城の撮り方やお城の写真の魅力に関する講座。	35人
発掘品模型と花押缶バッジを作ろう	2月20日(日)	オープン樹脂粘土を使って発掘品模型を作る。焼きあがるまでの時間を利用し、参加者の名前をくずし文字にした花押缶バッジを作る。	21人

事業名	実施日	内容	入場者数 参加者数
小牧山城最前線！令和 3 年度発掘調査速報展	2月10日(木)～ 3月21日(月・祝)	令和3年度に行われた史跡小牧山内の発掘調査の成果報告としてパネル展を開催。	4,641人
令和3年度史跡小牧山発掘調査成果報告	3月21日(月・祝)	令和3年度の発掘成果について、長年発掘調査に携わってきた小牧市文化財考古学専門員による、発掘速報展にあわせた成果報告。	40人
出前授業	5月17日(月) 6月11日(金)・ 18日(金) 7月5日(月) 10月1日(金)・ 4日(月) 11月20日(土)	小学校6年生の歴史学習の導入として、小牧山を題材に発掘品や拓本を通じた歴史研究の模擬体験、織田信長と小牧山城、城下町への理解、織田信長の実績についての授業等。	380人
	10月14日(木)	桃陵中学校の体育・文化祭「桃陵アクトfestival」に出前事業として参加し発掘模型「水滴」づくり等を実施。	43人